（参照）2022年度ユニークプロジェクト　採択プロジェクト一覧

■ユニークプロジェクト春募集

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 校舎 | プロジェクト名称 | 人数 | 達成目標 |
| 1 | 高輪 | NSテクノロジーズ | 11 | ETソフトウェアロボコン（ETロボコン）2022に参加し、上位入賞を目指します。ETロボコンでソフトウェア開発力およびコミュニケーション力を向上させるとともに、社会に出たときに必要な基礎力や社会に適応していく力を実践的に身に付けます。またプロジェクトの管理、運営を円滑に行えるように、メンバー全員で問題解決に向かっていける体制を構築し、技術力だけでなくエンジニアとしての素養を磨いていきます。 |
| 2 | 清水 | 海中美化プロジェクト | 10 | 本年度は、昨年度と引き続き、釣りが及ぼす環境負荷をダイビングで行える海中清掃を活かし、サポートしていく。それと同時に得られる学びに重点を置く事を活動概要とする。その他に、新型コロナウイルスが蔓延してからおよそ2年となるが活動自粛等によって海中環境がどう変化していったのかを分析し課題点を見出していく。これらによって得られた成果は富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア、三保水中生物研究会にて発表し、地域住民や他大学の学生と意見交換しようと考える。 |
| 3 | 清水 | 海の技術を教え隊プロジェクト | 13 | 主な活動内容としては、国内の水中ロボット大会に出場すること、及び中高生を対象に「水中ロボット」を関連させたイベントを開催することである。これらの活動を通して、本プロジェクト参加メンバー及びその周りの人々の海や水中での様々なロボット技術への理解を深めていくことを目的とする。また、大会やイベントに向けてチーム一丸となって取り組むにあたって、メンバーのコミュニケーション力や関係構築力の向上を目指す。 |
| 4 | 熊本 | 阿蘇MIRAI広場 | 10 | 南阿蘇村の学生との繋がりを深めるために村おこしを行い、この運営で社会人に必要なスキルを養うことを目的とするプロジェクトである。物事を進んで取り組むこと、南阿蘇村の地域住民や他の学部・学科の学生などの人々を巻き込むこと、周りの人達への幸せと南阿蘇村の復興のその先にある明るい未来を作りたいと考えている。社会人の一歩手前にいる我々学生の成長にも、南阿蘇村の復興にも繋がることができるプロジェクトにしたい。 |
| № | 校舎 | プロジェクト名称 | 人数 | 達成目標 |
| 5 | 熊本 | 動植物園プロジェクト | 26 | 熊本市動植物園と連携し、来園者を楽しませるイベントの開催や動植物園内の資料館での展示・プロジェクト独自のHPを利用した情報発信を行う。特に来園者の誤解を招きやすい屠体給餌についての解説に力を入れる。また、以前からの活動の継続として動植物園のボランティア活動も行う。情報発信やイベントの開催などの活動を通して野生動物の生態や環境保全、展示や企画の技能を学ぶことを目的とする。 |
| 6 | 熊本 | 阿蘇環境プロジェクト | 12 | 阿蘇地域について、生態系と水循環の両面から環境調査を行い、熊本地震後の環境変化とその後の回復過程を記録に残すとともに、阿蘇地域の雄大な環然を広く発信することで阿蘇地域の復興を支援することを本プロジェクトの目的とする。そのため、ドローンを使った植生調査、水質調査を行い、その結果を発信し阿蘇の素晴らしさが伝わるようなWebページの作成を行う。 |
| 7 | 熊本 | 熊本地域プロデュースプロジェクト | 25 | 現在熊本県では過疎化、高齢化が進行している。これらの問題解決のため、我々熊本地域プロデュースプロジェクトは「地域の魅力の再発見・再発信」を活動理念に活動している。この理念をもとに地域でのイベントを開催し、観光客を誘致することで観光による解決をはかろうと考えている。地域の住民とコミュニケーションを取りつつ、阿蘇地域・天草地域・熊本市内での活動を行う。 |
| 8 | 札幌 | 地域連携プロジェクトSAN+ | 10 | 札幌市南区が区生50周年の節目の年であるので、特にデザインの力で地域活性を促し南区の方々とのつながりをより一層深め、南区の未来をともに創造していけるプロジェクトを目指す。さらに、南区外の方々にもっと南区のことを知ってもらえるよう、フリーペーパーの制作を年2回に増やし、それを十分に周知できるよう配布場所を広範囲にすることと、WebサイトとSNSを頻繁に運用し、制作物に触れてもらえる努力をする。 |

■ユニークプロジェクト秋募集

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ＮＯ | 校舎 | プロジェクト名 | メンバー数 | 活動目的 |
| 1 | 湘南 | プラスチック削減プロジェクト | 18 | 学内にウォータースタンド（給水器）を設けることで、ペットボトルの消費量を減らし、学内の脱プラを促進する。 |
| 2 | 湘南 | SARTs | 11 | SDGｓを広めるとともにアートで東海大学を盛り上げる。 |
| 3 | 湘南 | GIP foods | 15 | “食”を通して、さまざまなSDGsの課題解決に取り組む。 |
| 4 | 湘南 | Ubumwe coffee Project | 8 | Ubumwe coffee Projectを通じ、学内生徒がフェアトレードについて関心を寄せ、SDGｓなどの諸問題へより関心を寄せるための第一歩とすること。 |
| 5 | 湘南 | ユネスコユース | 8 | 正しい性教育と多文化共生。 |
| 6 | 湘南 | T-ROOM（AXIS） | 7 | 東海大学湘南キャンパスをもっと学生のよりどころとして大学を盛り上げていく。 |
| 7 | 湘南 | T-ROOM『Nabi』 | 7 | より多くの学生に、学生目線の「大学生活の楽しさ」を伝える！ |
| 8 | 湘南 | Zero Waste Tokai | 6 | ゼロウェイストを目指すキャンパスづくり。 |
| ＮＯ | 校舎 | プロジェクト名 | メンバー数 | 活動目的 |
| 9 | 渋谷 | +digital | 2 | 渋谷区の「高齢化・高齢者の孤立」や「デジタルデバイド」の課題を解消する。 |
| 10 | 清水 | Shark Amazing Project | 19 | 様々なサメの生物学的知識や、一般には知られないサメに関する日本各地の文化についての学びを深め、それらを発信していく。 |
| 11 | 熊本 | 米粉スイーツ開発プロジェクト | 9 | 米の消費量を増加、それによる米農家の利益向上を目指す。 |